

その3. COC+は「紀の国大学」として参加・協力機関が結集する

本号で最終稿となりましたが、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）は和歌山県内の高等教育機関の和歌山信愛女子短期大学や和歌山工業高等専門学校に参加校として、また和歌山県立医科大学は協力校として参画いただき、各校の力を結集して学生を教育します。しかし、地域の複雑な課題や要求に答えるには県内のみの大学等では機能が限定的になります。そのため、隣接する大阪府内の総合大学でCOC事業に認定されている大阪府立大学・大阪市立大学、そして摂南大学を参加校として、また近畿大学・関西大学も協力校として参画していただいています。また、和歌山県内のすべての地方公共団体を代表して和歌山県、県内の主要企業だけでなく中小企業を代表して和歌山県経営者協会・和歌山県中小企業団体中央会、さらに創業支援にかかわる機関として、紀陽銀行に参画していただき、それらの機関がすべて一致協力して、「紀の国大学」を構築して、地域志向教育プログラムを展開していきます。和歌山県は県内の地方公共団体を代表して事業に参画し、事業全体のバックアップや学生のフィールドワークの拡充に努めます。また、和歌山県経営者協会、和歌山県中小企業団体中央会および紀陽銀行は、学生の就職活動の支援、インターンシップや創業支援に協力します。

このように「紀の国大学」の大きな事業体が県内の既存産業の活性化や新産業の創出を実現し、“わかやま未来学副専攻”を履修し、無事に修了証を手にした卒業生たちが地域に定着することにより、新たな雇用創出と地元就職率増につながることを期待してやみません。最後に、平成32年3月に卒業する学生たちが「紀の国大学」の第1期生として和歌山県の各地に定着し、生活を営み、子供を産み育て、人口減に歯止めをかけるべく、和歌山県の活性化に向けて、活躍していただきたく、またその実現のためには地域の皆様の応援が必要不可欠と考えています。今後ともよろしくご支援賜りますようお願いいたします。

（終）

紀の国大学HP <http://kinokuni-u.jp>

COC+推進室HP <http://cocplus.wakayama-u.ac.jp>